

科学と技術を学ぶ1

筑波研修

7月25日(水)～26日(木)に、茨城県つくば市研究学園都市の4施設を、2年生の6組と希望生徒の計59名が訪れ、科学技術の世界の広さを知りました。

どの施設でもスタッフが熱意や誇りをもって働いており、「一回目から成功することはなく、諦めずに失敗した理由を考えて何度も挑戦することで大きな発見がある」という話を聞きました。生徒からは「これからも自分も何度も挑戦して失敗を成功の基にして頑張っていきたい。」や、「この貴重な体験を忘れず、将来自分も理科の専門家になりたい」となどの感想がありました。



地質標本館



つくば植物園



高エネルギー加速器研究機構

科学と技術を学ぶ2

黒部研修

本校の創立記念日の9月21日(金)に、長野県の大町エネルギー博物館及び黒部ダムを、主に理数創造コース1・2年生の78名が訪れました。次のような感想がありました。

「現在は、スイッチを押せば当たり前に電気がつく。しかし、それはとても特別なことだ。今まで以上にエネルギーに興味がわいた。」「黒部ダムがたくさんの方が携わってできたこと、大変な建設工事だったことはわかってはいたが、いざ行ってみると想像をはるかに超えるダムの大きさを目の当たりにして、先人達の偉大さをより深く理解できた。」

「日本に今あるものすべてが誰かの苦勞や何らかの思いがあつてつくられている。それらのものについてもっとたくさん知りたいと思った。」



大町エネルギー博物館



黒部ダム

スーパーサイエンスハイスクール

SSH生徒研究発表会



8月8日(水)、9日(木)、神戸国際展示場で「ドミノ倒しの規則性は高さや間隔がかわったらどう変化するのか」についてポスター発表しました。全国のレベルの高さに緊張しつつも、堂々と立派な発表ができました。

左から
佐久間 晴希君(榊原中学校出身)
若松 朋希君(田富中学校出身)
河野 弘武君(榊原中学校出身)
鈴木 涼斗君(御勤使中学校出身)



吹奏楽部

西関東大会出場(2年連続)

楽しく吹こう! 賞の色じゃないよなあ

深澤 ほか(甲西中学校出身)



8月20日 国立音楽大学学長 武田忠善氏のレッスン

大会の前に顧問である安藤先生がおっしゃいました。私達はもちろん成果を出すために練習を積み重ねてきました。しかし、様々な雑念や不安を乗り越えて、自分たち自身が演奏を楽しむことができるようにならなければ、よりよい音楽は作れないのではないのでしょうか。9月9日、コロナ文化ホールで行われた第24回西関東吹奏楽コンクールは残念ながら結果に終わりましたが、私は「音楽を楽しみ、心から奏でることで今につながる」ことを改めて認識しました。1・2年生には新たな気持ちで、部活に取り組んでほしいと思います。

信州総文祭

川手 真央さん(白根巨摩中学校出身)が8月8日、9日長野県で行われた弁論の部に参加しました。

インターハイ出場



インターハイに出場して

ホッケー部 斉藤 なつみ(白根巨摩中学校出身)

私達ホッケー部は6月の関東大会で3位になり、7月末から岐阜県で開催されたインターハイに出場しました。7月29日(日)、川崎重工ホッケースタジアムで奈良県代表天理高校と戦い1対4で敗れました。悔しい結果でしたが、全国の壁の高さを知るとともに、勝つためには技術だけではなく、仲間と気持ちを一つにして試合に臨むことの大切さを学びました。10月には1・2年生の新人戦、11月に3年生も参加する関東選抜大会があります。一日一日の練習を大切に、良い結果を残したいと思います。

弓道部

和田 莉実さん(田富中学校出身)が8月2日、静岡県袋井市、エコパアリーナで行われた女子個人の部に出場しました。

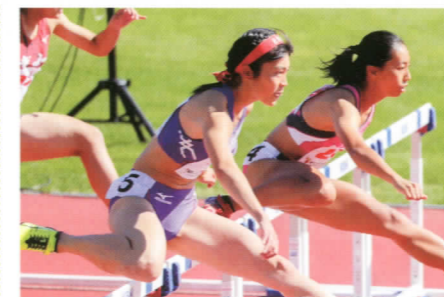
福井国体出場

福井国体に出場して



陸上競技部 水越 将司(八田中学校出身)

今回の大会では、惜しくも決勝に進むことは出来ませんでした。自分の全力を出し切って走ることが出来ました。共に練習してきたチームの皆や、先生方や家族の支えがあつてここまでこれたことに感謝したいです。写真…少年男子A400mハードル に出場。自己新記録を出す。10月5日福井県営陸上競技場



陸上競技部 三吉 南緒(榊原中学校出身)

私は1年生の時から数々の全国大会に参加してきたので、今回の結果はとても悔しく、同時に勝負の厳しさを改めて知りました。応援して下さったチーム山梨の先生や仲間には申し訳なさでいっぱいです。しかしこれから参加する大会もまだあるので、今できることを精一杯やり、自己ベストを更新して皆さんに恩返ししたいと思います。写真(手前)…少年女子A100mハードルに出場10月8日



弓道部 野中 亜美(榊原中学校出身)

私は弓道少年女子に吉田高校、富士北稜高校の生徒と参加しました。予選が台風の影響で中止となり、後日に上位に進出した8チームが1位となりました。自分の夢だった国体という舞台で今までの練習の成果が出て、本当に嬉しいです。支えて下さった方々と、恩師の先生に感謝の気持ちで一杯です。写真…10月2日、敦賀市総合運動公園弓道場

編集者を目指して



将来、編集の仕事に携わりたいことを目標としている1年生の小沢琴理(白根巨摩中学校出身)さんが、6月15日、本校で金塚校長先生とともに、文化講演会の講師として来校した作家の木村元彦さん、編集者の方と話をし、編集者の仕事について尋ねました。

小沢 …作家と編集者が互いに良い関係を築く秘訣は何ですか。

編集者 …無理に良い関係を作ろうとするんじゃなくて、作家とコミュニケーションをとることによって自然と良い関係が作れるのではないかと思います。

木村氏 …作家と編集者が自然とお互いに相手の事を考えて話すことができる関係になれば理想だよな。

小沢 …編集者になるためにはどのような努力をすれば良いですか。

編集者 …最初に言った通りコミュニケーションをとることだと思えます。あとは、想像力かな。

木村氏 …書いてる側としてはコミュニケーションがとれる編集者としての、一緒に仕事をしていて楽しいし、何より楽でいいと思うよ。あとは、自分の意見がはっきりと伝える人かな。この部分をどうしたらいいのか聞いたときに、意見をしっかりと出してもらえるって安心して仕事ができるよ。

木村氏 …書いてる側としてはコミュニケーションがとれる編集者としての、一緒に仕事をしていて楽しいし、何より楽でいいと思うよ。あとは、自分の意見がはっきりと伝える人かな。この部分をどうしたらいいのか聞いたときに、意見をしっかりと出してもらえるって安心して仕事ができるよ。

夏休みの8月9日には小沢さんは集英社の見学もしました。以下は、6月の対談や出版社見学のときの彼女の感想です。

私は小さい頃から漫画や小説を読むのも書くのも好きでした。将来は漫画家か小説家になりたいと思っていましたが、実際に書いてみて書く大変さを知り、「一時は夢を諦めよう」と思いました。しかし、作家の仕事をサポートする編集者という仕事を知り、それを仕事にしたいと思いました。今回、校長先生の取り計らいにより、木村元彦先生と編集者の方と直接話す機会をいただきました。短い時間でしたが、作家と編集者の信頼関係の大切さと好奇心と想像力が重要な仕事だと思いました。

また、夏休みに実際に出版社を見学しました。週刊誌の合併号が、編集者にとって休みが取れる貴重な時間であること、私が訪れた集英社は若手育成に力を入れていて、漫画もジャンルにこだわらず、幅広く取り入れていること、新書については作家と何度も打ち合わせを重ね、校閲に回すまでに文章を直しながら作品を作っていることを知りました。私は編集の仕事の大変さと奥深さ、そしてやり甲斐を感じました。目標の進路に進むことができるように、堀内社長から言われたように、これから沢山のことに挑戦し、経験を積み重ねていこうと思います。



▲本校校長室にて

山梨日日新聞 2018年8月11日24面掲載許諾済み

集英社にて堀内丸恵社長と対談



集英社にて堀内丸恵社長と対談